

# ホームステイで

現地家庭生活を体験!

## 夏休み

# 中学生海外派遣報告

今年も、夏休みを利用して町内の中学二年生3名が海外に派遣され、語学研修、歴史・地理の学習、現地青少年との交流など研修と友好親善に努めてきました。

北伊予中学校の杉村和哉さんは、ドイツのフライブルクとイギリスのロンドン近郊で7月26日～8月7日の13日間、松前中学校の木林理さんと岡田中学校の足立さちさんは、アメリカのサクラメント近郊で7月30日～8月14日の16日間、それぞれ自然、歴史、文化に触れながら語学力の向上と相互理解を深めました。

そのときのすばらしい体験を紹介します。

## 新しい出会い



7月26日(木)。ぼくらの飛行機は、期待と不安をのせてスイスのチューリッヒに向けて旅立ちました。今回は、13日間でスイス、ドイツ、イギリスを回るコースです。

12時間の空の旅を終えて、やっとスイスに到着。空港に着くと、どこを見ても外国人、聞こえてくる話し声も、周りに見える文字もすべてが外国語……。ぼくは、「外国に来ているんだな。」と実感しました。スイスは、山や湖などの自然がとてもきれいな所でした。ドイツのフライブルク市表敬訪問では、現地にいる方々が歓迎してくださいました。

ぼくが海外派遣でいちばん不安だったのは、イギリスでのホームステイです。ホストファミリーと初めて対面する時は、とても緊張し、何を話しかけられても全く意味が分かりませんでした。しかし、少しずつ打ち解けてきて、終わりのころには、ぼくの話したいことが単語をつなぎ合わせて何とか伝えられるようにな

りました。ホームステイでは、生活を通して、イギリス人と日本人とのものの考え方の違いなどを感じました。

ぼくたちの通った「House of English」には、ロシア、インドネシア、リビアなどいろいろな国々の子どもたちが勉強をしに集まって来ていました。その子どもたちとサッカーやスケートなどをして遊びました。言葉はほとんど通じなかったけれど、お互いに心が通じ合ったような気がして、もっともっと遊びたいなあと思いました。

ロンドンでは、バックingham宮殿や国会議事堂などの市内見学も楽しみました。

13日間、海外で多くの人々とふれ合い、仲間とともに貴重な体験ができたことは一生の思い出です。外国を訪れたことで、日本の良さも分かりました。みなさん、本当にありがとうございました。



▲ホストファミリーといっしょに